

ブルーカーボン号へリニューアル

7月20日、電気自動車4台の充電用電気を作る際に発生するCO₂と、マイクロバスの走行により排出するCO₂の一部(15-20%位)を、周南・大島干潟のブルーカーボンによりオフセットしました。それに伴い、EV、マイクロバスをブルーカーボン号にリニューアルしました。

※ブルーカーボンとは、アマモのような海の生物によって、吸収される「炭素」のこと。オフセットとは「炭素クレジット」を購入することにより、排出したCO₂の埋め合わせを行うこと。炭素クレジットはCO₂削減の取り組み活性化・地球環境の持続可能性の向上に使用されます。



超小型EV



リーフ

このEVの充電用電気を作る際に発生するCO₂は周南・大島干潟のブルーカーボンでオフセットしています

<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>14 海の豊かさを守ろう</p> 
--	---



マイクロバス

